

【20250117 追記】 定有堂教室「ドゥルーズを読む会（哲学を楽しむ会）」

1 日程、基本コンセプト

①日程 原則として隔月第1または第2木曜日 19:00～

②基本コンセプト

「逸脱」を「楽しむ」
＝ドゥルーズと皆さんの関心のあるテーマを往還する

2 第18回までの日程とテキスト

2022年

第1回 2022年10月27日（木） 岩田のレジメ※による全般説明

※定有堂ホームページ「今月読んだ本」第222～224回参照

第2回 2022年12月15日（木） 『千のプラトール（上）』所収「リゾーム」

2023年

第3回 2023年2月9日（木）

『意味の論理学（下）』所収「ミッシェル・トゥルニエと他者なき世界」

第4回 2023年4月13日（木） 『記号と事件』

第5回 2023年6月1日（木） 綾屋紗月・熊谷普一郎『つながりの作法』（NHK出版、2010年）

第6回 2023年8月17日（木）

『レヴィナス・コレクション』（ちくま学芸文庫、1999年）所収、「逃走論」（1935年）

第7回 2023年10月12日（木）

『レヴィナス・コレクション』（ちくま学芸文庫、1999年）所収「ヒトラー主義哲学に関する
若干の考察」（1934年）

小野寺拓也・田野大輔『ヒトラーは「良いこと」もしたのか』（岩波ブックレット、2023年）

第8回 2023年12月14日（木）

渡名喜庸哲『現代フランス哲学』（ちくま新書、2023年）

2024年

第9回 2024年2月1日（木）

木田元『反哲学史』（講談社学芸文庫、2000年）

第10・11回 2024年4月2日（火）6月13日（木）

木田元『現象学』（岩波新書、1970年）

第12～14回 2024年8月20日（火）10月10日（木）12月5日（木）

浅田彰『構造と力』（中公文庫2023年、勁草書房1983年）

2025年

第15回 2025年2月20日（木）

船木亨『ドゥルーズ』（清水書院、人と思想シリーズ、1994年）

第16回 2025年4月

宇野邦一『ドゥルーズ 流動の哲学』（講談社学芸文庫2020年、講談社選書メチエ2001年）

第17回 2025年6月

國分功一郎『ドゥルーズの哲学原理』（岩波現代全書、2013年）

第18回 2025年8月

千葉雅也『動きすぎてはいけない—ジル・ドゥルーズと生成変化の哲学』
（河出文庫2017年、河出書房新社2013年）